

令和4年2月25日

歯科地域医療機関 関係各位

一般財団法人永頼会松山市民病院
歯科・口腔外科 部長 栢原 浩彰

歯科・口腔外科への予約方法の変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院への地域連携に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび当科では、先生方の負担軽減や予約方法の簡略化を目的に、従来の予約方法を下記の方法にて変更させて頂くことになりましたので、お知らせいたします。

何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

従来の方法

電話連絡もしくは、FAXによる予約依頼

変更

FAXの送信を頂くと、FAXによる予約依頼の場合には、別紙①を10~15分以内にFAXにて返信いたします。FAX送信後に患者ご自身より当科への連絡の場合には、別紙②をFAXにて、5分以内にご返信いたしますので、患者さんへお渡し頂き、ご本人より連絡頂くようにご指示下さい。

尚、お急ぎの症例や、直接、私達へご相談されたい時には、遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。今後とも、当院との地域連携につきまして、よろしくお願い致します。

診療情報提供書（歯科病診連携）

令和 年 月 日

歯科・歯科口腔外科 _____

先生 侍史

住所
医療機関名
医師
電話 - - FAX - -

紹介患者様の情報	
刀がナ 氏名 _____ 生年月日 大・昭・平・令 年 月 日 (歳) 性別 男 ・ 女 当院受診歴 有 ・ 無 住所 _____ 電話番号 - -	
保険種別・番号	
被保険者氏名	保険者番号
記号・番号 _____	<input type="checkbox"/> 本人 ・ <input type="checkbox"/> 家族 負担割合 割
事業所又は保険者名 _____	
資格取得日 <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> R 年 月 日	
公費等記号番号 _____	
紹介内容	
希望受診日時 ① 令和 年 月 日 曜日 (午前 ・ 午後) ② 令和 年 月 日 曜日 (午前 ・ 午後) ③ 令和 年 月 日 曜日 (午前 ・ 午後)	
具体的な時間は、こちらで調整させていただきます	
予約回答手段 <input type="checkbox"/> 診療予約票のFAXを希望します <input type="checkbox"/> 本人が直接連絡しますので、ご調整ください	
傷病名 _____	
症状経過・治療経過・現在の処方（※普段ご使用の紹介状を2枚目に添付頂いても構いません）	
提供資料 <input type="checkbox"/> 画像診断フィルム 院内での患者待機 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

診療予約受付票

1

送付先

先生侍史

TEL

FAX

送付元 松山市民病院 地域医療連携室

この度は、患者様をご紹介頂き誠にありがとうございました。

下記の通り予約を承りましたので、患者様に予約日時等をご説明のうえこの用紙をお渡し下さい。

紹介患者氏名 様 (生年月日 年 月 日)

ID

予約内容

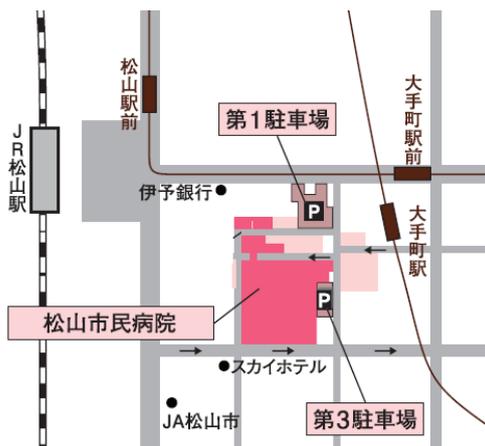
予約日時	年 月 日 曜日 時 分
受診診療科および担当医師	医師
当日ご持参いただくもの	■ 診療予約受付票 (本紙)、■ 紹介状、■ 健康保険証等 ■ お薬手帳 (お持ちの方)
注意事項	※ 予約時間の10分前に総合受付へお越し下さい ※ 当日の状況により予約時間帯が遅れる場合がございます ご了承下さい ※ 診察当日は、状態の確認と抜歯にかかる説明及び日程の相談のみ になりますので、当日の抜歯の処置はありません。

新型コロナウイルスの流行地域への訪問ならびに感染が疑われる方との接触がある方は

事前に地域連携室までお知らせ下さい。

予約日時の変更、キャンセルをされる場合は予約申し込みをいただいた医療機関にご連絡下さい

【 当日は、総合受付の初診受付窓口まで、お越し下さい 】



病院への交通案内

JR松山駅より徒歩5分

伊予鉄郊外電車高浜線大手町駅より徒歩3分

伊予鉄市内電車大手町駅より徒歩3分

松山市民病院 歯科・口腔外科 へ ご来院されます患者様へ

当科は完全予約制になりますので、紹介状を貰われましたら
電話連絡によるご予約をお願いします。



ご来院の前に、事前連絡にご協力ください

089-943-1151 松山市民病院 歯科・口腔外科外来

平日 8:30~12:00 13:30~16:30 土曜日 8:30~12:00

(土曜日のご連絡は、第一、三、五週のみ可能です)

ご予約日をご記入ください

月 日 曜日 時 分

ご予約時間の10分前までに総合受付へお越し下さい。

※ 抜歯目的の方は、初診時には抜歯処置はありません。



歯科・歯科口腔外科

Dentistry_oral_surgery

歯科口腔外科では、一般歯科診療だけでなく口腔外科疾患・口腔内科疾患の診断・治療を行っています。主なものとして、埋伏智歯抜歯などの外来小手術、口腔および顎骨に生じる腫瘍・嚢胞性疾患、菌性感染症などの炎症性疾患、歯の損傷や顎骨骨折などの口腔顎顔面外傷、顎関節疾患、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、などがあります。

心疾患、脳血管障害、糖尿病などの全身疾患のため歯科治療が難しい場合には、かかりつけ歯科から紹介いただき、関連する診療科と連携し治療しています。

また、全身麻酔で手術を受けられる方やがん化学療法、放射線治療を受けられる方を対象に、術後の肺炎予防や治療にともなう副作用の軽減を目的に口腔ケアを行っています。

■ 医師紹介

部長

栢原 浩彰 Kayahara Hiroaki

- 卒業年 1989年
- 資格 日本口腔外科学会専門医
- 学位 医学博士
- 専門領域 歯科・口腔外科全般

医長

浜川 知大 Hamakawa Tomohiro

- 卒業年 2008年
- 資格 日本口腔外科学会認定医
日本口腔科学会認定医
- 学位 医学博士
- 専門領域 口腔外科全般・有病者歯科

医員

西村 萌 Nishimura Moe

- 卒業年 2015年

臨床の現場から

歯科口腔外科紹介

— 口腔外科の充実を目指して —

歯科・歯科口腔外科 医長 浜川 知大



当科は2019年4月より常勤医3名体制となりました。口腔外科・口腔内科疾患への対応の強化、全身麻酔手術の実施、入院症例の受け入れ増加を目標に掲げて診療しています。

総合病院における歯科口腔外科では、内科的な疾患を有する患者さんへの有病者歯科治療や、一般歯科医院では対応困難な小外科手術(智歯抜歯など)、全身麻酔下での治療を必要とする口腔外科疾患(顎骨腫瘍・嚢胞、骨折、骨髄炎など)への対応が求められます。

救急診療においては口腔・顎・顔面領域の外傷がありますが、顎骨骨折では咬合の偏位に対する治療が必須であり、歯の外傷(動揺・脱落)に対しては迅速な処置が必要です。

また、抗血栓療法を受けている患者さんの抜歯に際しては、抗血栓薬内服継続下に十分な対応が可能な施設で実施することが、ガイドラインで推奨されています。近年のトピックスとしては、周術期口腔ケアの標準化と、薬剤関連顎骨壊死の増加が挙げられます。

周術期口腔ケア

2012年の歯科診療報酬改定で周術期口腔機能管理が保険収載されて以降、周術期口腔ケアは、病院歯科において非常に重要な業務となってきました。

がんなどの手術を全身麻酔で行う場合、その周術期に歯科治療や口腔ケアを行うことにより、手術に伴うさまざまな合併症を予防することができます。また、臓器移植手術や心臓血管手術、化学療法・放射線療法においても、治療前後において歯科治療や口腔ケアを行えば、治療に伴う合併症の予防となります。

周術期口腔機能管理の適応範囲は、人工関節置換手術や脳卒中手術など順次拡大され、現在は全身麻酔で行われるほぼすべての手術に対して行うことが可能です。

さらに2018年からは、全身麻酔の気管内挿管時に注意が必要な動揺歯の保護のためのマウスピースについても、保険算定が可能になりました。

高齢者の手術が増加しているなか、医療安全の観点から大変重要なことであり、当科でも積極的に動揺歯保護のマウスピース作製を行っています。

歯科用 CT の導入



車椅子での撮影も可能になりました

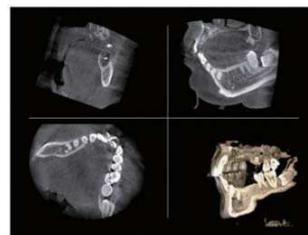
2019年9月に歯科用レントゲン機器の更新を行いました。従来のフィルムを使用するアナログ方式からデジタル方式へ変わり、歯科用CTの撮影も可能になりました。これにより歯科レントゲン検査における被曝量が低減し、画像診断の精度は飛躍的に向上しました。顎骨の大きさはおよそ10~15cmで、歯科治療の対象である「歯」の大きさは1~3cm程度なので、従来の医用CTでは診断が難しい場合がしばしばあります。近年普及してきている歯科用CTは0.1mm単位でのスライス厚やボクセルサイズ75μmの超高解像度画像により、歯根の形態や弯曲など、微細な診断を可能とします。一般の歯科医院より難治性で当院へ紹介となる歯科疾患のなかには、歯科用CTを撮影することで診断が可能となる歯および歯周組織の病変を有することもあります。

口腔外科の日常診療で最も頻度の高い埋伏智歯抜歯において、下歯槽神経や上顎洞との位置関係の把握は安全に手術を行うために必要不可欠なので、今回の歯科用CTの導入は非常に有用です。

診療実績

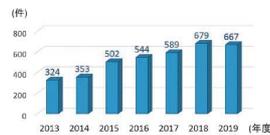
前年度と比較して、全身麻酔手術症例は2.1倍増加(2018年度:7例、2019年度:15例)、入院症例は2.3倍増加(2018年度:16例、2019年度:36例)となりました。周術期口腔ケアの件数は順調に増加しており、2018年度に初めて全身麻酔手術に対する口腔ケア介入率が50%を超えました。

これからもさらなる症例数の増加と口腔外科診療の充実を目指して、地域の先生方と十分な連携を築き上げていく所存です。パワーアップした歯科口腔外科に、みなさまからのより多くの患者紹介をお待ちしております。いつでも遠慮なくご相談ください。



埋伏智歯の位置と方向の確認や下顎管との位置関係の確認

周術期口腔機能管理件数の推移



前列左から
浜川医師
栢原医師
西村医師

		月	火	水	木	金	土
歯科・ 口腔外科	午前	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村 第1.3.5週
	午後	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	手術	栢原 浜川 西村	栢原 浜川 西村	—

令和3年4月現在